

未来への約束



かわさきコンパクト

Kawasaki Compact

かわさきコンパクトとは



2006年(平成18年)に川崎市は「国連グローバル・コンパクト※」に参加しました。

「かわさきコンパクト」は、
「国連グローバル・コンパクト」の理念を市内に展開していくため、
グローバルな視野から設定した課題に対し、
市民・企業・行政等の連携によって解決を目指す取組です。

※国連グローバル・コンパクトについては、14ページをご覧ください

「かわさきコンパクト」は
「ビジネスコンパクト」と「市民コンパクト」から構成されます。
それぞれの理念・原則に共鳴する事業者や市民の参加を募り、
自発的な取組を促進しています。
外部有識者による「かわさきコンパクト委員会」を
中心に取組を推進しています。



・ビジネス・コンパクト 9原則

[人権]	原則1:一人ひとりの人権を大切にします
[労働]	原則2:全ての働く人を大切にする職場をつくります
	原則3:環境問題に対する基本的な活動方針を作り公表します
[環境]	原則4:環境問題の解決に向けた予防的な活動を展開します
	原則5:環境にやさしい技術の開発と普及を促進します
[取引・商品 サービス]	原則6:公正な経済取引の実現に努めます
	原則7:安全かつ安心な商品・サービスを提供していきます
[地域貢献]	原則8:地域社会の一員として、地域社会に貢献していきます
[国際貢献]	原則9:自らの特徴を活かし国際社会に貢献していきます

・市民コンパクト 3つの宣言

- [宣言1] 川崎の町と人と自然を大切にします
- [宣言2] わたしの地球温暖化対策を進めます
- [宣言3] かわさきコンパクト・パートナー企業と協働します

参加団体・事業者一覧 (●ビジネス・コンパクトは16事業者、●市民コンパクトは20団体。平成29年2月1日現在)

- | | | |
|-------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 01 日本理化学工業株式会社 川崎工場 | 13 株式会社近藤工芸 環境事業部 KONDO KOGEI Inc. | 09 特定非営利活動法人かわさき創造プロジェクト |
| 02 モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合 | 14 富士通株式会社 川崎工場 | 10 EM普及活動研究会 |
| 03 株式会社デイ・シー | 15 株式会社ショウエイ | 11 特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンター |
| 04 東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社 | 16 株式会社建設技術研究社 | 12 特定非営利活動法人川崎市民石けんプラント |
| 05 昭和電工株式会社 川崎事業所 | 01 LET'S国際ボランティア交流会 | 13 川崎市地球温暖化省防止活動推進センタープロジェクト・省エネグループ |
| 06 日本電気株式会社 玉川事業場 | 02 おと絵がたり | 14 インターネット川崎ガイド |
| 07 東京ガス株式会社 川崎支店 | 03 環境を考え行動する会 | 15 かわさきNPO法人連絡会 |
| 08 味の素株式会社 川崎事業所 | 04 特定非営利活動法人さえの会 | 16 みどりなぐらし |
| 09 旭化成株式会社 川崎製造所 | 05 グリーンコンシューマーグループかわさき | 17 国際ソロプチミスト川崎 |
| 10 川崎信用金庫 | 06 特定非営利活動法人川崎フューチャー・ネットワーク | 18 川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会 |
| 11 株式会社イズミ | 07 認定特定非営利活動法人アクト川崎 | 19 ニヶ領用水ウォッチング・フォーラム |
| 12 JXエネルギー株式会社 川崎製造所 | 08 認定特定非営利活動法人かわさき市民アカデミー | 20 特定非営利活動法人おさかなポストの会 |

「かわさきコンパクト委員長のご挨拶」



かわさきコンパクト委員長

庄司 佳子

川崎市がグローバルコンパクトに署名し、10年が経過しました。その間、世界中で持続可能な社会づくりに向けた取組が広がり、SDGsやパリ協定により、その動きはますます活発化されています。

川崎市でも、より多くの市民・事業者・行政が手を取り合って、足元から持続可能な社会づくりに取り組んでいけたらと思います。ぜひ、一緒に未来に向けた取組を進めていきましょう。

推進主体として、「かわさきコンパクト委員会」において、
理念の普及や定着化について議論しています。

【平成28年度かわさきコンパクト委員会】

【委員長】 庄司 佳子 (グリーンコンシューマーグループかわさき)

【副委員長】 瀧田 浩 (特定非営利活動法人産業・環境創造リエゾンセンター 顧問)

小倉 敬子 (公益財団法人かわさき市民活動センター 理事長)

【委員】 鈴木 直久 (川崎商工会議所 副会頭)

末吉 竹二郎 (川崎市国際環境施策参与)

日本理化学工業株式会社
川崎工場

01

チョーク製造で
日本一のシェアを持っている
文具メーカーです。

日本理化学工業の社員は、70%以上が知的障がいのある社員です。砂時計を使うことや、色分けで表示することなど、障がいを持った社員それぞれの理解力に合わせて製造工程を組むことで社員ひとりひとりが大きく活躍してくれています。

人間の究極の幸せは、人に愛されること、ほめられること、役に立つこと、必要とされることであり、企業こそ実現可能であるという理念をかげ、皆働社会を目指して、取り組みを推進しています。



【活動予定】

今後も、常に「相手の理解力に合わせる」という姿勢を大事にして、障がい者雇用を推進していきます。より多くの障がい者が働くことのできる社会の実現に貢献できるよう努力します。

モトスミ・プレーメン通り商店街
振興組合

02

「1店1エコ運動」と
「エコ調査隊」

平成27年度の「1店1エコ運動」「エコ調査隊」の実施につきましてはグリーンコンシューマーと協力ののもと、市内小学生24名の参加をいただき、平成27年7月24日に実施いたしました。48店舗の「1店1エコ運動」の実施状況を聞き取り発表していただきました。



【活動予定】

今年度の「エコ調査隊」による「1店1エコ運動」の実施状況に付きましては、平成28年7月に実施し、昨年度より参加者が増え36名になります。

昭和電工株式会社 川崎事業所

05

世の中や暮らしを支える
化学製品を
製造・販売しています

川崎事業所は、多種多様な化学製品を生産している工場です。「無事故・無災害事業所実現」「レスポンスブルケア推進」の方針の下、保安防災・労働安全衛生・環境負荷低減等の取り組みを行うと共に、アルミ缶のリサイクルを通じた寄付、出前授業の実施等、地域・社会への貢献も大切にしています。取り組みの成果は、毎年CSRサイトレポート(※)として公開しています。

(※当社ホームページよりご覧いただけます

<http://www.sdk.co.jp/csr/report/site.html>)



【活動予定】

「社会に安心・安全を提供する事業所」「循環型社会実現に貢献する事業所」の実現に向け、各種取り組みを維持・向上していきます。

日本電気株式会社 玉川事業場

06

パブリック、エンタープライズ、
テレコムキャリア、システムプラットフォーム、
スマートエネルギー事業の
研究・開発拠点です。

【既築ビルをICT活用で購入電力50%削減達成】

当社のICTを結集させた大規模改修を2ヶ年かけて行いました。また、太陽光発電設備、小型風力発電設備など再生可能エネルギーを導入し、既築ビルをスマートビルにすることができました。竣工当初は節電電力が30%でしたが、ICTを活用したチューニングにより、2015年度の目標であった購入電力50%削減(2010年度比)を達成しました。詳細並びに2015年度の他の活動につきましては、「NEC玉川事業場 環境アニュアルレポート2016」をご参照下さい。

<http://jpn.nec.com/eco/ja/group/domestic/report2016/tamagawa2016.pdf>



【活動予定】

今後、実証された当社のソリューションを社会に貢献させるとともに、更なる洗練されたエネルギーソリューションを追求し活動を進めて参ります。

株式会社デイ・シー

03

人々の暮らしを支える
建設資材を提供しています。

当社は、低炭素社会への取組として、スラグを活用した製品の製造に取り組むとともに、主力製品のセメントの原燃料として、自治体や近隣企業から積極的に副産物・廃棄物を受入れ、使用するなど、資源循環型社会に貢献してきました。

また、地域社会との交流も引き続き図るとともに、安全で快適な暮らしを支える製品を提供していきます。



【活動予定】

更に資源循環型社会に貢献するため、処理難解物の原燃料化を推進し、経営方針である「地球環境との調和と地域社会との共存共栄」を図ります。

東京電力パワーグリッド株式会社
川崎支社

04

川崎市と共同で進める
メガソーラ事業

川崎市の臨海部にある浮島と扇島では、川崎市との共同事業で最大出力20,000kWのメガソーラを運転しています。太陽光発電所は臨海部にあり風の荷重を軽減するために、太陽光パネルの設置角度など工夫を凝らしています。また、川崎市が運営する「かわさきエコ暮らし未来館」ではエコについて学習出来る展示や展望スペースからメガソーラの見学もできます。

本事業はCO2削減と電力供給力の確保の一翼を担い、次世代への貢献を推進しています。



【活動予定】

川崎市との共同事業である浮島太陽光発電所と扇島太陽光発電所の運転・保守を実施します。

東京ガス株式会社 川崎支店

07

1都6県(神奈川・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬)の
主要都市において①ガスの製造・供給・販売
②ガス機器の製作・販売・関連工事③ガス工事
④エネルギーサービス ⑤電力販売を実施しています

東京ガスでは、供給エリア内での学校教育支援活動として、小・中学校での出張授業や教員研修、PTA活動への協力などを行っています。出張授業ではエネルギーや環境について考える授業を実施、教員研修では弊社施設の見学を通してエネルギー事業についてご紹介。また、PTA活動では、エコ・クッキングや電力自由化等、環境・エネルギーについて考える機会を提供。夏休み等には、地域施設で環境学習やリサイクルについて考える環境工作教室なども実施しています。



【活動予定】

出張授業 72クラス/教員研修 3日/PTA活動への協力 5日/地域での環境学習 2日/地域での環境工作教室 3日を実施予定
※出張授業および教員研修は東京ガス神奈川学校教育情報センター(今年度発足組織)が対応しています

味の素株式会社 川崎事業所

08

生産、研究、グループ会社従業員
約3,000名が働く
味の素グループ最大の拠点です。

2015年に「うま味」などについて楽しく体験しながら学べるように「味の素グループうま味体験館」をオープンしました。また、地域社会との共生を目指し、小学生を対象とした体験型食育プログラム「味覚教室」、川崎市との協働による「かわさき緑のカーテン夏休み!親子ゴーヤー料理教室」など、食の大切さや省エネを考える機会を幅広く展開しています。また、生産における資源の有効利用や地域清掃活動、社員食堂での「食べ残しゼロキャンペーン」など、事業所全体で環境負荷の少ない循環型社会の実現に取り組んでいます。



【活動予定】

味の素グループの持つ最新の知見をいかし、「食」「アミノ酸」「環境」といったテーマで多彩なイベントを今後も展開していくとともに、従業員一人ひとりの意識向上を図り、地域の課題解決への貢献を目指します。

旭化成株式会社 川崎製造所

09

製造と研究が一体となった
ケミカル事業の
一翼を担う生産拠点です。

川崎製造所では「展示センター」を開設し、近隣の住民、学生インターンなどに川崎製造所の化学製品や製造工程を紹介することで、地域社会とのコミュニケーションの拠点としています。また、川崎製造所の呼び掛けで推進してきた殿町夜光線沿い企業による公道周辺の一斉清掃が評価され、川崎市より「第4回スマートライフスタイル大賞」大賞を受賞するなど、地域活動にも積極的に継続して取り組んでいます。



【活動予定】-----
2回／年実施している殿町夜光線沿い企業による公道周辺一斉清掃を更に大きな活動とすべく、川崎市とも連携し、清掃範囲を広め、参加企業・団体を毎年増やしていきたいと思ひます。

川崎信用金庫

10

預金及び定期積金の受入れ、
資金の貸付及び手形の割引、
為替業務、その他

川崎信用金庫は、地域行事や環境・まちづくり活動等への参加、子供たちのサッカー大会や子供劇場の開催などのスポーツ・文化活動、作文・絵画コンクールを通じた国際感覚の醸成と国際親善への貢献、環境に配慮した定期預金・個人向けローン商品の開発・販売など幅広い社会貢献活動を展開しています。また、地域社会の発展や経済の活性化に向けて「経営サポートセンター」を設置し、創業・新分野進出、経営改善、事業承継などの活動に取り組んでいます。さらに、地元中小企業の販路拡大を目的とした「ものづくり商談会」などビジネスマッチングの機会を提供しています。



【活動予定】-----
前年度までと同様、地域金融機関として地元川崎の発展のため更なる地域貢献活動を行って参ります。

株式会社近藤工芸 環境事業部
KONDO KOGEI Inc.

13

独立電源の事なら、eneidea®
「電源の無い所に、電源をつくります」

行政や大学など学識経験者により、「独自性・市場性・将来性・事業性」を評価され第12回川崎ものづくりブランドに「eneidea®」が認定されました。安全性やリサイクル性に優位性を持つ産業用鉛電池を使用して、独立型電源を計画し、常用・非常用と目的に合った電源を設計・製作しています。畜電池は、鉛電池を使い、使用量や場所を基に化学反応の応答性を考慮して設計しています。また、放電深度を設計することで長寿命計画も可能なほか、極寒地域でも対応可能です。防災・減災への備えとして、様々な場面で非常用・常用・分散電源などに採用され、備蓄庫内の照明用などに使われている他、可搬型で組立式の独立電源は災害の現地でのエネルギー調達を可能です。



【活動予定】-----
これからも、携帯電話・通信端末機向け充電用電源や、太陽光発電と蓄電の組み合わせなど、本業を通じて持続可能な地域づくりに貢献していきます。

富士通株式会社 川崎工場

14

システム・製品に係る全ての研究、
開発、各生産工場の連携・統合業務

人権については、人権研修の実施や、ダイバーシティの推進を行いました。労働については、労働災害未然防止の取り組み、実験室安全巡視など快適な職場づくりのための安全衛生活動を行いました。環境については、川崎地区環境方針を策定し環境報告書に掲載する等、広く公表すると共に、環境活動の重点テーマを「自らの事業活動における環境負荷低減」、「社会への貢献」と掲げ社員一人ひとりの環境意識の向上に努めました。地域貢献の一環として、事業所の一部を開放し、地域の方も自由に参加できるイベントを開催する他、地域イベントへの積極的な参加や運動部によるスポーツを通じた地域とのコミュニケーションの推進、環境教育等に係る体験の機会の場の提供、インターンシップの受け入れなどを行いました。



【活動予定】-----
今度も継続的に人権・労働・環境・地域貢献に向けた取り組みを推進してまいります。

株式会社イズズ

11

再生可能エネルギーによる
環境に良い生活をつくる。

株式会社イズズは生活に不可欠なエネルギーをよりクリーンなものとして普及させることに取り組んでいます。太陽光発電設備の設置や蓄電池の設置、電気自動車の販売促進等に力を入れ、エコ住宅を拡大させています。風力発電や地熱発電、バイオマス発電にも視野を広げ、多方面からのエネルギー事業に取り組む為に準備を進めています。



【活動予定】-----
川崎を中心に全国各地にエネルギーの地産地消を広めていきたいと考えております。各家庭にバッテリーを設置することによって、「電気を貯めて使う」ということを宣伝していきたいです。

JXエネルギー株式会社
川崎製造所

12

石油製品(ガソリン・灯油・潤滑油等)の精製と
販売、ガス・石炭の輸入と販売、石油化学製品
等の製造と販売、太陽電池、蓄電装置などの販売、
電気の供給を行う、総合エネルギー企業。

JXエネルギー株式会社川崎製造所は、JXグループ行動指針である『社会との共生』『地球環境との調和』を実現するため、持続可能な社会の発展に貢献すべく積極的に社会貢献活動を推進しています。近隣町内会の皆さまを対象に、環境学習コーナー等の様々なアトラクションを提供する、当所最大の地域行事「ENEOS子どもフェスティバル」は、40年以上継続して実施しています。地域に開かれた製造所をめざした「町内会製造所見学会」では、所内の視察や環境・安全に関する取組みを紹介する意見交換会を開催し、製造所活動状況への理解を深めていただいています。



【活動予定】-----
地域行事「ENEOS子どもフェスティバル」を継続して実施するとともに、企業市民として、地域に根ざした社会貢献活動を積極的に推進します。

株式会社ショウエイ

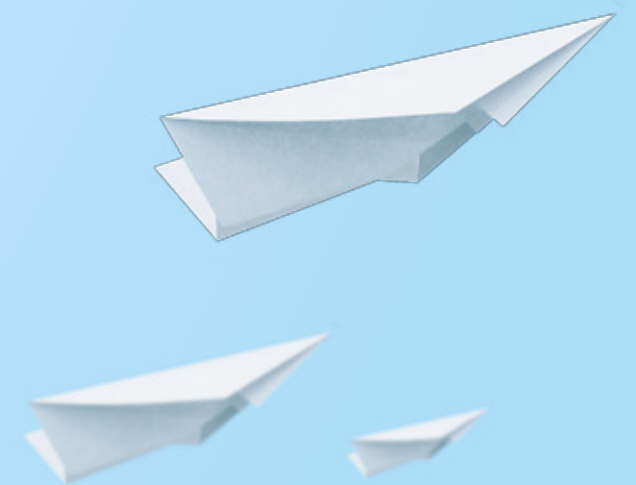
15

当社は温泉ろ過装置や
プールろ過装置などの製造・
販売を通して、環境問題への
貢献を目指しています。

環境関連製品(プール、温泉施設向けろ過省エネシステム)の販売を水・電力削減量に換算した目標を掲げて取り組むとともに、お客様の施設全体で環境保全に取り組める新たな省エネシステムの開発を進めてまいりました。また環境配慮活動の啓発の一環としてCASBEE川崎取得ビルの使用、工場見学の受入れ、市内中学校へ出張授業の実施、地域環境イベントへの参加を行いました。



【活動予定】-----
従来の製品群、特に省エネに関連した製品の開発・販売促進、更なる安心・安全の提供とともに、子どもたちへの環境教育の場の提供にも取り組んでまいります。



LET'S国際ボランティア交流会

01

外国人支援、
異文化理解で、
多文化共生社会を目指す

LET'S国際ボランティア交流会は、毎週、外国人向けに日本語サロンを開いています。原則一対一の学習で日々の暮らしに役立つ日本語を身に付けられるようにするほか、時には悩みを聴いたりしながら、異国で暮らすことの不安を解消できるよう支援しています。また、文化紹介の機会を提供するなど、外国人の活躍の場を地域に広げています。年に一度は乳幼児を持つお母さん対象のプロによるミニコンサートを開催し、気軽に音楽文化を楽しんでいただく機会を提供しています。



[活動予定]

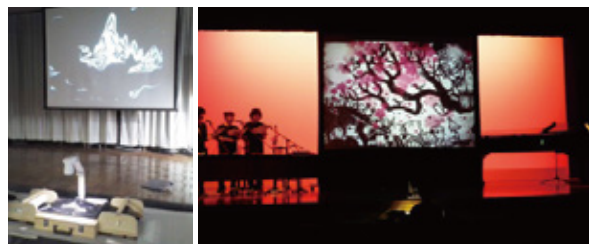
日本語サロン(毎週月曜日・満の口カトリック教会)、浴衣体験会(6月下旬～7月初旬・宮前市民館)、ミニコンサート(10月～11月・宮崎こども文化センター)、また各種相談にも対応しています。

おと絵がたり

02

オリジナル影絵に
音楽と語りを合わせ、
聞いて見て楽しむ昔話

小学校の読み聞かせ活動から生まれた「おと絵がたり」は、地域の昔話、日本古来のお話、世界の昔話などを作品に作りあげ、上演することで伝え、作品の中のメッセージである「心のごちそう」を分かち合うことで、人と人がつながる活動を続けています。特に川崎の昔話の発掘と伝承に貢献しています。影絵の上演と合わせ、お絵かきや楽器づくりのワークショップも行い、川崎市内外の様々な施設からの依頼公演に応じえています。



[活動予定]

年に1回、中原市民館ホールで本公演(主催公演)。市民館、こども文化センター、保育園、小学校、高齢者施設など、年間約30件の依頼公演に応じえています。

グリーンコンシューマーグループ
かわさき

05

グリーンコンシューマーの10原則を
基本に身近にできるエコライフを
多くの人にすすめます。

市内各地のイベントに出展してマイバッグ作りなどをするほか、小学校や市民館の講座では、エコショッピング・クッキング、スーパーのチラシを使った「食べ物をめぐる旅」等の教材を利用して、身近にできるエコライフをすすめています。モトスミ・プレーメン通り商店街と協働して「1店1エコ運動」を10年以上継続して進めており、今年もたくさんの小学生と一緒に「エコ調査隊」を開催しました。



[活動予定]

小学校の環境学習支援として、毎年5～6校の小学校に出向いています。地域の子育て講座や自主学級の要望にも応じています。そのほか、多くの方に参加していただける地球温暖化防止のための講座も予定しています。

特定非営利活動法人
川崎フューチャー・ネットワーク

06

環境を意識して行動する
市民を増やすための
「学びの場づくり」

川崎フューチャー・ネットワークは、川崎市を「環境都市」として市民が誇れるまちにするために、環境学習、ネットワーク形成、情報発信の3つを柱として活動を行っています。

環境問題はさまざまなテーマが複合的につながりあっているため、SDGs(持続可能な開発目標)にあるように、枠を越えて考えていく必要があると思います。市内で「エコツアー」、「学びあいエコサロン」、「公害映画上映会」などを開催するほか、全国の環境団体とも連携しながら、環境情報を発信するウェブサイト・SNSを運営、無料メールニュースを発行しています。



[活動予定]

毎月1回(第3火曜日夜)、学びあいエコサロンの開催。
夏休み期間には「川崎公害映画上映会」、年度末には講演会などを開催。

環境を考え行動する会

03

私たちの子どもや孫の世代に
少しでもよい環境を残すため、
できることから行動しようと
生ごみを堆肥にするダンボール
コンポストの普及活動に取り組み8年です。

川崎市内の自治会・町内会はじめ花壇グループや、大地を守る会、生活クラブなど食の安全を掲げる事業者や八王子市、多摩市、日野市、相模原市などの団体からも講座依頼がありました。市主催の生ごみリサイクル講習会、麻生区主催の夏休み親子講習会も恒例となっています。環境局生活環境事業所の職員研修としての生ごみリサイクル講座にも関わりました。



[活動予定]

今までが独自に進めてきた小学校でのダンボールコンポストの取り組みを、今年度川崎市との協働でモデル実施します。次年度以降は川崎市が本格実施の方向で、資源循環の輪を次世代につなげていきます。

特定非営利活動法人さえの会

04

オペラ・オペレッタ公演
コンサートの企画・運営・公演
合唱団運営

音楽団体NPO法人さえの会は、ジャンルを超えた音楽活動を通し、ともに音楽を楽しみながら音楽芸術の普及に努め、地域文化の向上発展に協力していきます。

コンサート活動においては、合唱団「虹」を中心に音楽スタッフ、制作スタッフとともに、お客様に喜んでいただけるようなコンサートをめざしています。他団体との交流や合同演奏会等も積極的に行っています。



[活動予定]

主催公演「クリスマス・サロン・コンサート」開催
音楽普及のための出演協力「合唱祭」「かわさき市民アカデミーフェスタ」「コーラルフェスト」「高津区民音楽祭」「夏休みを楽しぐす会」等出演します。

認定特定非営利活動法人
アクト川崎

07

企業・学校・行政・市民とともに、
地球温暖化防止の推進、
実践を行います。

・川崎市地球温暖化防止活動推進センターの企画運営を通じて、市民活動の支援・実践推進、事業者との連携を進めています。
・事業者の施設見学、情報交換・意見交換会開催などにより、市民と事業者との交流の場を設け、相互理解を深めています。
・小学校向け環境出前授業の推進、子ども向け夏休み・春休みの体験実験教室、町内会・自治会・マンション・市民団体等への環境学習開催、環境分野の人材育成など、環境学習・環境教育を推進しています。
・家庭のうちエコ診断、COOL CHOICEの普及啓発により、民生分野のCO2排出削減を推進しています。



[活動予定]

・毎月のテーマ毎に、CCかわさき交流コーナーにて企画展示、講座を開催。
・子ども向け夏休み、春休みの環境体験・工作講座の開催。
・第5回かわさき環境フォーラムの開催(12月16日・土、高津市民館11階)。
・4月からリニューアルオープンする「小黒恵子童謡記念館」の運営。

認定特定非営利活動法人
かわさき市民アカデミー

08

市民向けの生涯学習講座・
ワークショップの
運営を行っています。

川崎市中原区を拠点として市民向けの生涯学習の場を提供しています。人文科学・社会科学・自然科学の多分野にわたる講座やワークショップを年間100講座以上開講し、年間受講登録者数延6,500名が学んでいます。なかでも地域課題の解決を目標に川崎市生涯学習財団と協働運営している「地域協働講座」や川崎の歴史、文化、自然等について学ぶ「川崎学」は、市民の社会参加と学習成果の地域への還元を支援するユニークな講座です。



[活動予定]

認定NPOの資格を得たことを機会として以下の事業に取り組んでいます。
①従来からの講座の一層の充実②子どもたちを対象とした事業の拡大
③学習成果を地域社会に還元する活動の支援④郷土川崎の素晴らしさを後世に伝える事業。

特定非営利活動法人 かわさき創造プロジェクト

09

シニアの知恵・技術・ 経験を生かし、 地域課題の解決をめざす。

シニアの皆さんが地域で活動できる機会と場とを確保・提供し、豊かなシニアライフ構築と市民生活向上に寄与することを目的として次の事業を行っています。

- ①シニア向けイベント等取材・執筆し、情報発信する
川崎シニアポータル「かわぼ」事業
- ②シニア向けパソコン学習支援事業
- ③行政との協働によるシニアパワーアップ事業。
(講演会、PC教室、傾聴講座)
- ④小学校パソコン学習支援事業。
- ⑤地域の寺子屋事業



〔活動予定〕

会員80余名で分野の異なる五事業を行っています。NPO法人としてのミッションは「シニア世代の社会参加・地域活動の機会と場づくり」。2025年問題へのアプローチとして各事業のより一層の充実を図ります。

特定非営利活動法人 産業・環境創造リエゾンセンター

11

最古参の工業都市川崎で、 足元から世界まで先進的に 環境改善を目指します

川崎臨海部に立地する製造業を中心とする企業が会員で、「経済と環境の好循環」を目標に、企業と行政、市民等の連携を進め「地球温暖化対策」、「地域環境改善」、「市民活動との交流」の三本柱を中心に活動しています。また、コンビナートの防災や環境への取組みを発信するため、川崎市、神奈川県、茨城県、千葉県とともに「臨海コンビナート都市連携シンポジウム」(平成28年11月1日)などを開催しました。こうした取組みは国内外からも注目されています。



〔活動予定〕

市民NPOとの協働を視野に企業と市民双方のニーズの把握と一層の交流を通して、より市民に身近なコンビナートとして理解されるよう努めていきます。

また、「臨海コンビナート都市連携シンポジウム2017」を平成29年10月31日に開催します。

EM普及活動研究会

10

EMによる生ごみ リサイクル普及定期講習会 開催と各種イベント出展

住吉会場・・・奇数月第三木曜日午前10時～12時(2003年1月から通算82回開催)住吉こども文化センター内1階学習室。

宮崎町会場・・・偶数月第三月曜日午前10時～12時(2006年8月から通算60回開催)宮前区宮崎町会会館1階。

各種イベント出展・・・宮崎台さくらまつり、エコフエスタかわさき、円筒分水スプリングフエスタ、高津区テクノまつり、高津区健康福祉まつり、宮前区民祭等々

ご希望の団体或いは個人様には、無料の出張講習会を開催させていただきますので、お気軽にご連絡ください。



〔活動予定〕

定期的活動やイベントのほかに他の団体との協働、企業・大学との連携にも積極的に取り組みたいと考えています。環境改善に有用微生物の活用と普及に努めます。

川崎市地球温暖化省防止活動推進センター プロジェクト・省エネグループ

13

省エネグループは、地球温暖化防止 のため省エネルギーを実践する 市民や家庭を増やすための 普及啓発活動をしています。

継続した地球温暖化防止を進めるため、主に小学生を対象とした「エコライフチャレンジ」や「出前授業」を行っています。エコライフチャレンジは夏休みや冬休みに、家庭でできる省エネルギー項目を選び、家族と相談しながら取組み、その成果を報告していただくものです。出前授業は温暖化、節電、エネルギー、植物の二酸化炭素吸収等について、児童の環境学習のきっかけになるように、講義や体験学習を取り入れた授業をしています。

また市内の環境イベントに参加したり、町内会等の環境学習会野にも参加し、省エネルギー意識・実践の普及啓発に努めています



〔活動予定〕

こうした活動は地道に継続することが大事なので、今後も範囲を広げて積極的に取り組んで行き、エコライフチャレンジや出前授業の結果(感想や質問)は学校に報告し、市民に広報するなど、年間を通じて、学校や市民に働きかけていく予定です。

かわさきNPO法人連絡会

15

NPOの困っていること、 悩んでいることを解決する 互助の仕組み

当連絡会の加入団体は、福祉・介護、子ども、文化、環境、まちづくり、生涯学習、災害援助など活動領域が異なり、思いも目的も違います。しかし、困っていること、悩んでいることは共通点が多いので、お互いの情報交換、情報共有を中心に毎月、定例会を行っています。また、共通課題を解決するための勉強会も、随時行っています。



〔活動予定〕

「市民活動団体の課題解決のための勉強会」「NPO法人会計の勉強会」など、その時々課題となることをテーマに、適宜、勉強会、講演会などを開催しています。

インターネット川崎ガイド

14

川崎市全域から発信されている多数のホームページ(商業を除く)を、写真・地図と結びつけ、さまざまな形で、分類・整理、見やすく判りやすく一覧でご紹介する、インターネット鳥瞰図を提供しています。

熟年・高齢者、転入・来訪者、IT初心者に日常生活、市民活動、地域活動、広報活動、IT教育、などの資料として活用され、地域の活性化に貢献しています。特に、自然・環境・健康の分野に留意し、各区百景・その他多種のサイトを通じて、四季にわたり参加型の散策・散歩ルート地図、写真、関連ホームページを提供するなど、単なる情報提供だけではなく、「やさしく外出」の機会につながるよう、支援を行っています。



〔活動予定〕

絶えざる変化に即応、常に内容の充実・更新を行い、川崎市内で発信されるインターネット情報・写真・地図情報の確実で早い提供を心がけています。ほかに、GoogleMapsへの写真登録、川崎市内500地点以上。

みどりなぐらし

16

～身の丈で、半歩先へ～ 子育て世代の方へ 心豊かなくらしの提案

親子ひろばや親子向け企画を開催し、食とエコなぐらしの情報発信を行いました。地域のマルシェ出店では、木工ワークショップを開催し、自然に親しみながら、楽しく工作を行いました。「川崎野菜をたくさん食べよう」では、ラタトゥイユ作りと、はぐるま農園でのピザ作りを行い、多くの親子に食の大切さを伝えました。また、育児と介護の同時進行「ダブルケア」についての座談会や学習会を開催し、社会的課題にも取り組みました。



〔活動予定〕

武蔵新城駅近くでの親子ひろばの定期開催、親子向けの食と農、エコなぐらしの情報発信を適宜行います。地域で開催のマルシェへの出店や、映画「うまれる」「ずっと、いっしょ」自主上映会を開催予定です。

女性の自立と
地位向上を主目的として、
教育人権社会開発平和のための
奉仕をしています。

女性による世界的奉仕団体。女性の自立のため顕彰事業を行い、奨学金制度を設置しています。十代の女子へ活動支援金を贈呈、乳児院・子どもシェルターへの支援もしています。地域へはいのちの電話や障がい者自立のための音楽会に寄付、環境保全活動や国際交流事業を助成しています。国内外災害支援の他、国連を通して世界の女性の教育などに経済的支援をしています。長年地道に奉仕活動をされた方への表彰事業もあり、毎年助成金を贈呈しています。



【活動予定】
当団体の年度は7月から翌年6月です。奉仕活動は継続事業として実施されています。これら活動の奉仕資金確保のため5月13日(土)に武蔵小杉駅前広場でチャリティバザーを開催します。



コラム

「食と暮らしを通じた
未来へのチャレンジ」

子どもたちに持続可能な社会のために、自分たちが取り組むべきことを考えてもらおうと、味の素株式会社、花王株式会社、株式会社イースクエアでつくる「食と暮らしのサステナブル・ライフスタイル研究会」と連携して、「食とくらしがつくる地球の未来 みんなで一緒に考えよう」と題した、体験型環境プログラムを開催しました。
子どもたちが、身近な環境課題と自分たちの生活とのつながりを考え、より心豊かなライフスタイルの実現に向けて、大人と一緒に考えるよい機会となりました。



市内のイベントでの
「かわさきコンパクト」の紹介

1 エコ・クロスマッチングの
共催

平成28年6月28日(火) 高津市民館
(川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催)
市民団体による発表や、川崎市で表彰を受けた事業者の先進事例紹介などの場で、情報発信を行いました。



2 地域・社会貢献フォーラム
2016の共催

平成28年11月30日(水)
川崎商工会議所第5第6会議室(川崎市主催)
地域・社会貢献活動に取り組んでいる、またはこれから取り組みたいと考えている企業に向けて、情報発信を行いました。

3 かわさき環境フォーラム
への出展

平成28年12月17日(土) 高津市民館
(川崎市地球温暖化防止活動推進センター主催)
市民・事業者・学校・行政が一堂に会し、楽しみながらエコを学ぶ場において、情報発信を行いました。



4 ごえん楽市への参加

平成29年1月28日(土)
中原市民館・かわさき市民活動センター
(公益財団法人かわさき市民活動センター主催)
川崎市内で市民活動に取り組む団体が参加する見本市にて、かわさきコンパクトの参加団体ブースへのポップの掲示や、情報発信を行いました。

かわさきコンパクトの取組

1 「かわさきコンパクト交流会」による参加企業・団体間の交流促進

平成28年7月14日(木)富士通川崎工場

- 参加団体間の交流、各々の取り組みを紹介することによる活動の活性化を目的として開催。
- 今回はコンパクト参加企業である富士通川崎工場で、普段小学校で実際にやっているタブレットを使った環境学習を体験。
- その後、かわさきコンパクトの課題、今後のあり方について意見交換を行った。

平成29年1月23日(月)川崎市役所第4庁舎

- かわさきコンパクト参加団体同士で取組を紹介し合った。
- 今後のかわさきコンパクトの在り方について、参加団体や委員が意見交換を行った。



2 「かわさきコンパクトフォーラム」の開催



平成28年2月19日(金)国際環境技術展センターステージ

- 末吉竹二郎氏 川崎市国際環境施策参与／国連環境計画金融イニシアティブ特別顧問
- 2015年12月にCOP21で採択されたパリ協定を受け、世界経済の動向などについて解説

3 「かわさきコンパクトセミナー『Made "With" Japan 日本モノづくり文化と技術がつくる持続可能な社会』の開催



平成28年10月19日(水)川崎商工会議所会議室

- 川崎商工会議所と共催により開催。● エクベリ聡子氏(ワンプラネット・カフェ代表取締役社長)

国連グローバル・コンパクトとは？

国家や国際機関のみでは解決困難な
「人権」・「労働」・「環境」・「腐敗防止」の4分野の課題に対して、
企業や団体に自発的な参画・取組を促すもので、
1999年アナン事務総長(当時)が提唱しました。

国連グローバル・コンパクト10原則

- 【人権】 原則1 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
原則2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
- 【労働】 原則3 組合結成 の自由と 団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
原則4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
原則5 児童労働の実効的な廃止を支持し、
原則6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
- 【環境】 原則7 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
原則8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
原則9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
- 【腐敗防止】 原則10 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

川崎市 国連グローバル・コンパクト コミュニケーション・オン・エンゲージメント 2015

ステークホルダーに向けた国連グローバル・コンパクト原則を支持するための活動や
イニシアティブへの取組を「国連グローバル・コンパクト コミュニケーション・オン・エンゲージメント」
として取りまとめ、発表しています。



川崎市は、2006年に「国連グローバル・コンパクト」の支持を表明するとともに、この「国連グローバル・コンパクト」の理念を市内展開するため、かわさきオリジナルの「かわさきコンパクト」を定めて、参加を呼びかけています。「かわさきコンパクト」は、「ビジネスコンパクト」と「市民コンパクト」から成り、誰もが幸せを感じられる川崎を目指したまちづくりを進めています。

本市は、多摩川や多摩丘陵などの自然や、地域に根付いた文化やスポーツ、京浜工業地帯の一翼を担ってきた産業の集積、首都圏の中心に位置する恵まれた立地条件などのポテンシャルを兼ね備え、都市と産業が共生する人口147万人の大都市として存在感を増しています。

日本の産業発展をけん引してきた川崎市は、深刻な環境問題など、これまで幾多の困難に直面し、知恵と工夫をもって、課題解決に向け挑んできました。公害克服の過程では、優れた人材が培われるとともに

に産業の集積が進み、現在では、最先端の環境技術などをもつ世界的な企業や研究機関が数多く立地する国際的な産業・研究環境都市へ変貌を遂げるなど、苦難を乗り越え、ピンチをチャンスに転換して発展を成し遂げてきました。

日々複雑化する社会状況の中、日本で唯一「国連グローバル・コンパクト」に参加している自治体である川崎市は、「世界をひき寄せる真のグローバル都市 川崎」を掲げ、多様な文化や価値観を受け入れながら、経済活動などをグローバルに展開しています。国際社会の一員として、気候変動などの環境問題への対応や社会福祉の向上などグローバルな課題を真正面から捉え、我が国、アジア、世界の平和と繁栄に貢献し、この活気溢れる「最幸のまち かわさき」を、未来を担う子どもたちに引き継いでいくため、成長と成熟が調和した持続的な発展に向けて、挑戦し続けてまいります。

川崎市長 福田 紀 歩

かわさきコンパクトに関するお問い合わせ

かわさきコンパクトは、市内の事業者・市民活動団体の皆様と連携して、持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

参加ご希望の方や、関心のある方は、下記にお気軽にお問い合わせください。

かわさきコンパクト推進事務局

電子メール : info@kawasaki-compact.com

ホームページ : <http://www.kawasaki-compact.com>

川崎市環境局 地球環境推進室

電話 : 044-200-3871

FAX : 044-200-3921

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

(FAXでお問い合わせの際は、このページをご利用いただけます)

かわさきコンパクト お問い合わせフォーム

氏名	団体名
電話	メール
<p>お問合せ内容</p> <p><input type="checkbox"/> 活動に興味があるので、詳しく聞きたい</p> <p><input type="checkbox"/> 参加したいので、応募書類を送ってほしい</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <div style="text-align: center; font-size: 4em;">（</div>	